

次期行政改革プランの策定について

行革推進課

1. 政策等の背景・目的及び効果

本市は、これまで、財政状況に留意しながら、総合計画に基づく施策を推進するため、時々の社会経済情勢への対応や本市の将来像を見据えた行政改革の取り組みを推進してまいりました。

現行の「行財政改革プラン2020」が令和5年度（2023年度）をもって計画期間の満了となることから、今後の社会経済情勢を見据えた行政改革の方向性を示すとともに、個々の改革課題を掲載する次期行政改革プランの策定に向けた取り組みを進めるものです。

2. 内容

(1) 改革の目的と方向性

現行プランに掲げている行政改革の目的や方向性は基本的に次期プランに継承したうえで、この間の社会情勢の変化や新たな視点を加味したものとします。

目的

枚方市の『魅力』の向上をめざし、
次代を見据えた『行政』の再構築と『市民自治』の推進を図る

方向性

◇5つの基本方針

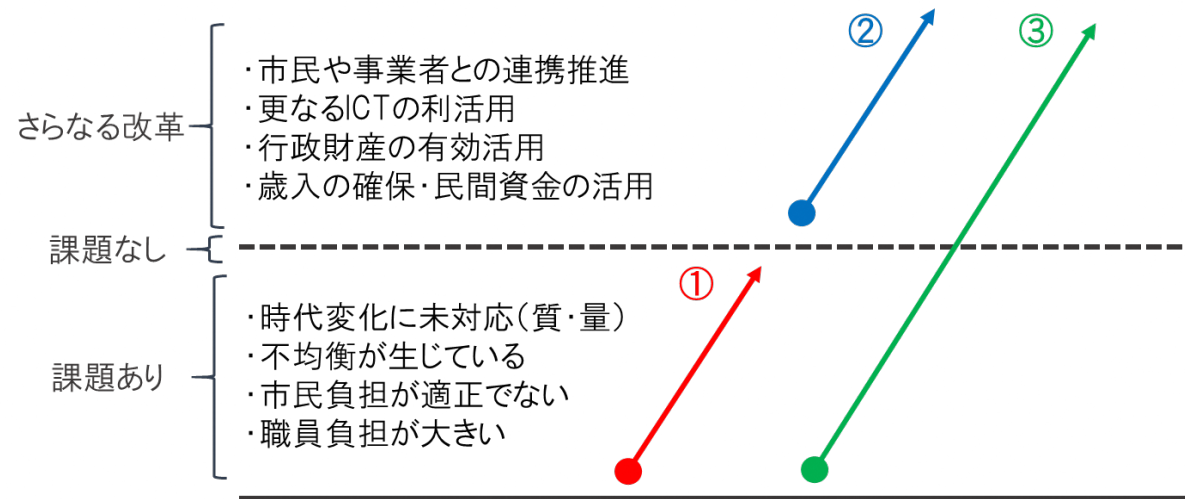
- ①行財政経営システムを構築する
- ②行政サービス・行政資源を最適化する
- ③スマート自治体への転換をめざす
- ④職員の働き方と職場を変える
- ⑤民間活力の活用や協働を推進する

◇スピード感のある改革のための進行管理

◇行政改革効果の「見える化」

(2) 現行プランからの見直し点

- 「個別改革課題を設定する視点」(改革の視点)を追加



- 効果額(金額)のみならず、効率化や負担軽減の効果等についても把握
- 設定する個別改革課題が各部の個別計画にも掲載されている場合は、課題設定時に「〇〇計画に記載あり」と示す

3. スケジュール（予定）

年 月	内 容
令和5年(2023年)11月	総務委員協議会に報告（プラン案）
令和5年(2023年)12月	パブリックコメントの実施
令和6年(2024年)2月	総務委員協議会に報告
令和6年(2024年)3月	次期行政改革プランを策定

4. 総合計画等における根拠・位置付け

総合計画 基本目標 計画の推進に向けた基盤づくり
計画推進3 持続可能な行財政運営を進めます

